

株主、投資家、取引先、社員のみなさまへ

第14期 事業報告書

平成14年4月1日から平成15年3月31日まで



東京オフィスのスタッフ



©HANSHIN Tigers
大阪は私です。
星野仙一ぬいぐるみ



名古屋オフィスのスタッフ



福岡オフィスのスタッフ



株式会社 エスケイジャパン

(証券コード：7608)

Financial Highlights 財務ハイライト

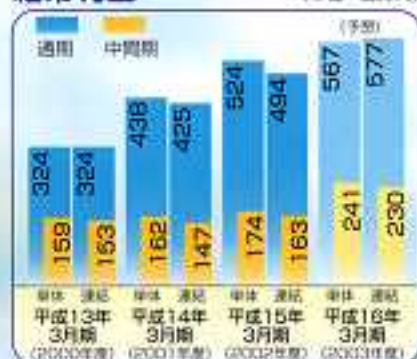
売上高

(単位: 百万円)



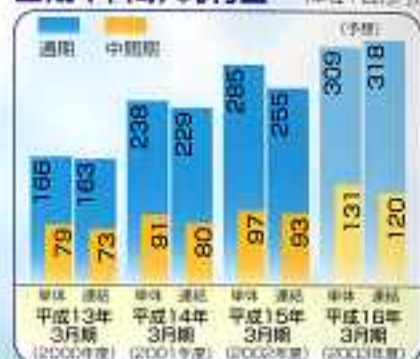
経常利益

(単位: 百万円)



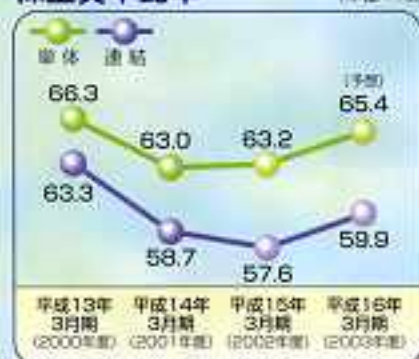
当期(中間)純利益

(単位: 百万円)



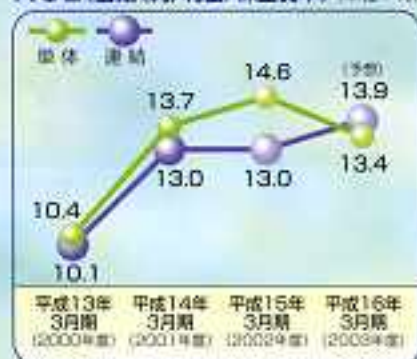
株主資本比率

(単位: %)



ROE(当期(純)利益/株主資本)

(単位: %)

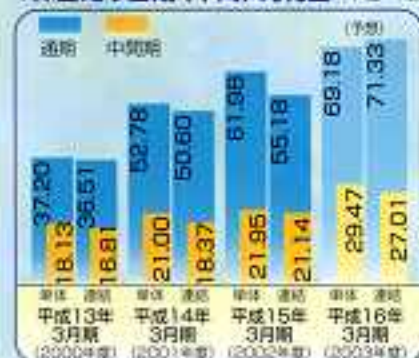


配当性向・1株当たり配当金



1株当たり当期(中間)純利益

(単位: 円)



1株当たり株主資本

(単位: 円)



連結従業員数・平均年齢

(単位: 人)



注1 発行済株式総数は、中間期は期首から中間期末までの6ヶ月間の期中平均で、通期は期首から期末までの1年間の期中平均で算出しております。
 注2 当社は、平成14年5月20日付で株式1株につき1.3株の分割を行っており、1株当たり指標(1株当たり配当金を除く)の基額は当該株式分割に伴う影響を加味し、裏表修正を行った場合の1株当たり指標の推移を記載しております。
 注3 1株当たり配当金のうち、平成14年3月期には大正工業上場の記念配当1円、平成18年3月期には東証二部上場の記念配当4円を添っており。



**1 Financial Highlights**
(財務ハイライト)**2 ごあいさつ****3 4 Topics****5 Character Lineup****6 Business Review**
(営業の概況)**7 Consolidated Financial Statements**
(連結財務諸表)**8 Non-Consolidated Financial Statements**
(単体財務諸表)**9 Corporate Profile**
(会社の概要)**10 Stock Information**
(株式情報)**11 株主メモ**

株主、投資家、取引先、社員のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、ひとかたならぬご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここに第14期（平成14年4月1日から平成15年3月31日まで）の事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

エスケイジャパングループは、「子供から大人まで幅広い層に夢を与えるキャラクター商品を人々の生活の中に提供する」をモットーに、癒し・安らぎ・潤いのある商品の企画開発・販売に取り組み、創業以来13期連続で増収を達成することができました。また、今期も新卒13名を採用し、昨年11月には株式会社ケー・ディー・システムを子会社化しましたが、今後もさらなるグループの企業価値と業容の拡大に努めてまいりたいと思っております。なお、おかげさまで平成15年3月6日をもって東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。これもひとえにみなさまの多大なご支援の賜物と深く感謝いたします。

最近の経済情勢は、デフレ経済と株式市場の低迷が進み、金融における諸問題に海外情勢の不透明感も加わって、景気は依然回復の見通しがたたないまま厳しい環境で推移しました。キャラクター業界においても、業者間の競争は激しさを増し、生き残りをかけた戦いが激化しております。しかしながら、そんな状況の中でもキャラクターを求め愛する人々の心は衰えをみせるどころか、逆に癒しなどを求めキャラクター商品を手にする人々が増えています。このような環境のもと、エスケイジャパングループは時代と環境の変化を素早くとらえて柔軟に対応し、これからもお客様のニーズにあった商品を提供し続けていきたいと考えております。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成15年6月



代表取締役社長

久保敏志



おかげさまで東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。

当社は平成元年に玩具・雑貨卸問屋を主な販売先としたキャラクター雑貨卸販売で事業をスタートさせ、そこからアミューズメント業界に販路を拡大して、オリジナル商品の企画にも着手してまいりました。平成5年には卸販売部門を分離し、株式会社サンエスを設立いたしました。業績も順調に推移しましたが、知名度の向上、優秀な人材の確保を図り、さらに経営基盤を充実強化するために株式の上場を目標に掲げました。平成11年に大阪証券取引所新市場部に第一号で上場し、平成13年9月には同市場第二部に上場の承認をいただき、さらなるエスケイジャングループの成長と人気キャラクター取得に努めてまいりました。そして、平成15年3月6日に、東京証券取引所から承認を得まして、市場第二部に上場を果たすことができました。今後も魅力あふれる商品をお客様に提供できるよう取り組んでまいります。さらには東京証券取引所市場第一部への上場を目指し、社員一同総力を結集して業績と企業価値の向上に努めてまいります。



記念配当を実施しました。

当社は念願であった東証第二部上場を果たすことができました。これもひとえに株主のみなさまをはじめ、関係各位のご支援の賜物と感謝しております。これを記念し、今年度は1株につき普通配当12円に、東証二部上場記念配当として4円の増配を行い、あわせて1株につき16円の配当を実施いたします。当社は今後も安定した配当の継続と分割も含めた利益還元を積極的に実施したいと考えております。



(株) ケー・ディー・システムの子会社化を実施

当社はさらなる業容拡大のために、積極的にM&Aを実施してまいりました。平成13年に(株)イメージライフの営業権を譲受けたのに続き、平成14年11月に(株)ケー・ディー・システムの電子玩具・電子雑貨の企画開発部門および関連部門を子会社化いたしました。(株)ケー・ディー・システムは携帯電話関連やビデオ関連などエレクトロニクス関連のノウハウと実績を有しており、当社はその中の3部門を子会社化し、八百博徳(当社常務取締役)を代表取締役社長とする新会社を発足させました。これによって当社のキャラクター商品の企画販売力と、(株)ケー・ディー・システムの企画開発力と実績を併せ、電子玩具・電子雑貨部門の強化と共に、新たな販路も獲得できるのではないかと考えております。

〈主な実績商品〉



フラッシュラバーホルダー (くまのプーさん)

ラバー製の携帯電話ホルダー。着信するとライトがカラフルに光ります。

© Disney



クリスタルストラップ (ミッキーマウス)

携帯電話が着信するとクリスタルがキラキラ光るストラップです。

© Disney
発売元：株式会社ラナ



フラッシュボールストラップ (ドナルドダック)

携帯電話が着信するとボール部分が光ってお知らせするマスコットです。

© Disney
発売元：株式会社ラナ

Group Network

エスケイジャパン本社

〒540-0005 大阪市中央区上町1-3-10 エスケイビル
TEL 06(5765)1300 FAX 06(5765)1400
(株)サンエス(住所同上)
TEL 06(5765)4411 FAX 06(5765)3366



(11号館)



(2号館)



エスケイジャパン東京営業所

〒111-0051 東京都港区芝浦4-93-7 エスケイビル
TEL 03(3862)8444 FAX 03(3862)8445
(株)サンエス(住所同上)
TEL 03(3862)7776 FAX 03(3862)8881
(株)ケーディーシステム
〒111-0053 東京都中央区浅草橋2-21-8 ASDビル
TEL 03(5835)4870 FAX 03(5835)4875



エスケイジャパン福岡営業所

〒812-0041 福岡市博多区吉原2-16-11 エスケイビル
TEL 092(85)17788 FAX 092(85)17720
(株)サンエス(住所同上)
TEL 092(85)17730 FAX 092(85)17720



エスケイジャパン名古屋営業所

〒460-0009 名古屋市中区栄3-1-25 本町地蔵ビル2F
TEL 052(242)1211 FAX 052(242)1322



Character Lineup

★アミューズメント景品



Sanrio
LICENSE

おなじみのサンリオキャラクター達がケーキの上に乗りました。おまけにお腹を押すと…かわいいメロディが流れてくる！！

© 1978, 1996, 1998, 1999, 2003
SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No.4050167

★アミューズメント景品



頭文字D

雑誌「週刊ヤングマガジン」の中でも、絶大な人気を誇る「頭文字（イニシャル）D」。毎回評判のラジコンを今回はサイズアップ。全車走行時ライト点灯とバージョンアップ。

©しげの秀一
/ 講談社・トニー・マックス・オービー企画

★アミューズメント景品



モアイヌ

モアイヌ＝モアイの顔をした犬。なんとも不思議なこのキャラクターになぜか愛されてしまう。ソニーマガジンスより絵本も好評発売中！

© 2001 IWAYA CO. Licensed
by Cosmo Merchandising

★アミューズメント景品



タツノコパレ
TATSUNOKO BABY

タツノコパレの懐かしいキャラクターがミニサイズになって登場。懐かしさのあまり思わず手にとってしまいたくなる大人急増中。

© Tatsunoko / Yamiko

★物販商品



星野仙一・田淵幸一

今年もベナントレースが始まり、阪神タイガースの優勝も気になる頃。阪神戦の応援。また大阪土産のお供にと大活躍！！

© HANSHIN Tigers

★SP商品（企業のノベルティ）



KURA
CORPORATION LTD

株式会社くらコーポレーション
全国に70店舗を展開している回転寿司チェーン。お寿司を5皿食べるたびに回転するルーレット（びっくらボン）の賞品として、このタオルセットを採用していただきました。



Business Review

営業の概況

【当期の概況】

当社をとりまくキャラクター業界は、復刻版のキャラクター玩具や、生き物等のフィギュアなどが新たな市場を形成しており、その購入層の中心は30~40歳代の男性であります。また、子供の頃に親しんだキャラクターを自分の子供にも買い与えるという、世代をまたぐヒットキャラクターとなったものも数多く出ています。また、オマケとしてキャラクターが商品につけられ、そのキャラクターの効果で商品が爆発的に売れるといった現象や、キャラクターをイメージアップに採用する企業も増え、今やキャラクターは無限の可能性を秘めているものであると言えます。

【部門別の状況】

★株式会社エスケイジャパン

アミューズメント業界向け販売事業は、今期売上高6,726百万円（前期比124.2%）と増収となりました。これは公立学校で平成14年4月から完全週休2日制が導入されたことや、ハッピーマンデー法による3連休の増加等の影響から、人々がレジャーに時間を使う余裕が広がったため、アミューズメント施設への来場者数が増加し、プライズ機（景品払い戻し機）の売上増につながったことが要因であります。当社としても新しいキャラクターの発掘に努め、アミューズメント業界としては初の「モーニング娘。」の商品を発売し、大好評となりました。また、販売先としてはチェーン展開を行っているポウリング場最大手のラウンドワンなど大型の路面店や、ショッピングセンターに併設された店舗などが好調でありました。

SP事業（販売促進）も売上高167百万円（前期比159.5%）と増収で、販売基盤も固まりつつあり、安定した売上をあげられるようになりました。

★株式会社サンエス

物販業界全体としては、店舗数が減少し、まさに個性的で強いものだけが生き残るといった厳しい様相を見せています。携帯電話関連グッズも多様化し、ヒットアイテムが分散化している時代になりました。そんな中、当社はオリジナルアイテムの拡販に努めた結果、売上高1,262百万円（前期比121.2%）と増収となりました。

★株式会社ケー・ディー・システム

株式会社ケー・ディー・システムは昨年の11月に当グループに加わり、今期売上高53百万円となりました。今後は安定した業績をあげられる体制を整え、グループ内の相乗効果も高めてまいります。

【今後の事業展開】

エスケイジャングループは「売上高100億円達成」「東証一部上場」をビジョンとして掲げ、これらを3年以内に達成することを目標としております。そのためにもエスケイジャングループは、商品を企画するのも社員、営業するのも社員という信念に基づき「人」を重視し、無限の可能性を秘めた新卒社員はもとより、即戦力として多くの経験を積んだ中途社員も積極的に採用しております。

またグループ内のそれぞれの事業がシナジー効果を高めていけるよう、グループ価値の拡大に努め、キャラクター業界のSPA（製造小売）の実現を目指していきたいと考えております。



Consolidated Financial Statements 連結財務諸表

(単位：百万円)

●連結貸借対照表

科目	前期末 (平成28年3月31日)	当期末 (平成29年3月31日)	構成比	増減額
(資産の部)				
①流動資産	2,084	2,457	68.8%	372
現金及び預金	831	949		117
受取手形及び売掛金	1,091	1,201		110
棚卸資産	119	237		118
その他	57	89		32
貸倒引当金	△ 14	△ 20		△ 5
固定資産	1,083	1,115	31.2%	31
有形固定資産	799	801	22.4%	2
建物及び構築物	284	316		31
土地	469	469		-
その他	44	15		△ 29
無形固定資産	29	32	0.9%	2
投資その他の資産	254	281	7.9%	26
投資有価証券	82	80		△ 1
その他	198	225		27
貸倒引当金	△ 26	△ 25		1
資産合計	3,168	3,572	100.0%	403
(負債の部)				
流動負債	1,240	1,443	40.4%	203
買掛金	595	891		295
短期借入金	278	177		△ 100
その他	366	374		8
固定負債	68	69	2.0%	1
負債合計	1,309	1,513	42.4%	204
(資本の部)				
資本金	341	343	9.6%	1
資本合計	1,859	2,058	57.6%	199
負債資本合計	3,168	3,572	100.0%	403

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書

科目	前期 (平成28年3月31日)	当期 (平成29年3月31日)	百分比	増減額
売上高	6,393	7,968	100.0%	1,575
売上原価	4,567	5,825	73.1%	1,258
販売費及び一般管理費	1,374	1,617	20.3%	242
営業利益	452	526	6.6%	74
営業外収益	7	14	0.2%	6
営業外費用	34	46	0.6%	11
経常利益	425	494	6.2%	69
特別損失	0	0	0.0%	0
税金等調整前当期純利益	424	493	6.2%	68
法人税、住民税及び事業税	224	256	3.2%	32
法人税等調整額	△ 28	△ 18	△ 0.2%	10
当期純利益	229	255	3.2%	26

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前期 (平成28年3月31日)	当期 (平成29年3月31日)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	221	373	152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 205	△ 95	110
②財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10	△ 160	△ 149
現金及び現金同等物の増加額	4	117	113
現金及び現金同等物期首残高	826	831	4
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	2	2
現金及び現金同等物期末残高	831	949	117

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- ①前期に比べて現金及び預金が117百万円、棚卸資産が118百万円それぞれ増加したこと等により、流動資産が前期比で372百万円増加しました。
- ②借入金の純減額112百万円および利益配当金の支払額が50百万円あったこと等により、財務活動によるキャッシュ・フローは160百万円の支出（前期比149百万円増加）となりました。

Non-Consolidated Financial Statements 単体財務諸表

(単位：百万円)

●貸借対照表

科目	前期末 (前1483日計)	当期末 (前1543日計)	構成比	増減額
(資産の部)				
流動資産	1,852	2,157	65.6%	305
現金及び預金	777	920		143
受取手形及び売掛金	900	987		86
租卸資産	78	170		91
その他の	103	94		△ 9
貸倒引当金	△ 8	△ 15		△ 6
固定資産	1,079	1,130	34.4%	50
有形固定資産	799	800	24.4%	1
建物及び構築物	284	316		31
土地	469	469		-
その他	44	14		△ 30
無形固定資産	17	14	0.4%	△ 2
投資その他の資産	263	315	9.6%	52
投資有価証券	82	80		△ 1
その他	199	254		55
貸倒引当金	△ 18	△ 20		△ 1
資産合計	2,931	3,287	100.0%	355
(負債の部)				
流動負債	1,014	1,140	34.7%	125
買掛金	448	738		289
短期借入金	176	66		△ 110
その他	389	336		△ 52
固定負債	68	69	2.1%	1
長期借入金	22	10		△ 11
負債合計	1,083	1,210	36.8%	126
(資本の部)				
資本金	341	343	10.5%	1
資本合計	1,848	2,077	63.2%	229
負債資本合計	2,931	3,287	100.0%	355

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●損益計算書

科目	前期 (前1348日計)	当期 (前1448日計)	百分比	増減額
売上高	5,523	6,816	100.0%	1,292
売上原価	3,944	4,985	73.1%	1,040
販売費及び一般管理費	1,128	1,291	19.0%	162
① 営業利益	450	540	8.0%	89
営業外収益	22	29	0.4%	6
営業外費用	34	45	0.6%	11
経常利益	438	524	7.7%	85
特別損失	0	0	0.0%	0
税引前当期利益	438	523	7.7%	84
法人税、住民税及び事業税	224	256	3.8%	32
法人税等調整額	△ 24	△ 19	△ 0.3%	5
当期利益	238	285	4.2%	46

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●利益処分

科目	前期 (前1348日計)	当期 (前1448日計)	増減額
当期末処分利益	421	448	27
利益処分額	231	254	22
② 利益配当金	23	44	20
役員賞与金	7	10	2
別途積立金	200	200	-
次期繰越利益	189	194	4

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

①売上総利益率は前期比で1.6ポイント低下しましたが、販売費及び一般管理費の増加を抑えたため、営業利益は前期比で89百万円増加しました。

②利益配当金は、1株につき普通配当6円に、東京証券取引所市場第二部銘柄に指定されたことを記念し、4円を加えた10円とさせていただきます。したがって当期の年間配当金は1株につき16円となりました。



Corporate Profile 会社の概要 (平成15年3月31日現在)

○会社概要

商号 株式会社エスケイジャパン
英文社名 SK JAPAN CO.,LTD.
設立 平成元年12月14日
本店所在地 〒540-0005
大阪市中央区上町一丁目3番10号エスケイビル

資本金 343,804,419円
従業員数 86名(グループ合計124名 平均年齢29.0才)
事業内容 キャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー、家庭雑貨、携帯電話向けアクセサリグッズ、プライズ商品等の企画・製造・販売

主要取引先 株式会社シチエ、株式会社アスモ、株式会社ナムコ、株式会社ラウンドワン、株式会社スガイ・エンタテインメント、株式会社マタハリ、株式会社ファンフィールド、アドアーズ株式会社、株式会社ワイドレジャー、株式会社タイトー、株式会社イオンファンタジー、プレビ株式会社、株式会社ソユー、昭和開発株式会社、株式会社ハーマン、株式会社トムス・エンタテインメント、コナミ株式会社、株式会社カブコン、株式会社バンプレスト、株式会社アミバラ、株式会社アトラス、株式会社翔泳社、株式会社マーベラスエンターテイメント、株式会社アリサカ、株式会社アムリード、株式会社山崎屋、株式会社プロバックス、テクモ株式会社、株式会社マーク、株式会社豊島園、株式会社平和フーズ

主要取引銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社UFJ銀行
株式会社三井住友銀行 株式会社東京三菱銀行
UFJ信託銀行株式会社 住友信託銀行株式会社

役員
代表取締役社長 久保 敏 志
常務取締役(商品担当) 八百 博 徳
取締役(営業担当) 中 村 英 記
取締役(関係会社担当) 久保山 浩 樹
取締役(管理担当) 川 上 優 價
監査役 西 田 昌 弘
監査役 菅 生 新

○子会社の概要

商号 株式会社サンエス
英文社名 SAN-S CO.,LTD.
設立 平成5年9月9日
代表者 代表取締役社長 久保 敏志
事業内容 キーホルダー、携帯電話関連グッズ等のファンシーグッズの物販向け卸販売

資本金 10,000,000円
主要取引先 株式会社キデ
ィランド、日本トイザラス株式会社、株式会社ロフト、株式会社東急ハンズ、株式会社平和堂、株式会社博品館、イオン株式会社、株式会社ららぽーと、東映株式会社、株式会社ドン・キホーテ、株式会社しまむら、株式会社イズミ、株式会社マイカル、株式会社リテイルネットワークス、JR九州リーテイル株式会社、株式会社ソニーブラザ、株式会社丸井、株式会社イエローサブマリン、株式会社テラ

商号 株式会社ケー・ディー・システム
英文社名 KD.SYSTEM CO.,LTD.
設立 平成14年11月25日
代表者 代表取締役社長 八百 博徳
事業内容 電子玩具・電子雑貨の企画開発・販売
資本金 40,000,000円
主要取引先 株式会社三越、株式会社マリモクラフト、イー・ディー・アイ株式会社、中越自動車用品株式会社、株式会社エトワール海渡

○会計監査人

中央青山監査法人(関与社員が執務する事務所)
〒530-8248 大阪市北区中之島3-3-3 中之島三井ビルディング15階
TEL 06 (6479) 6011 FAX 06 (6479) 6021

○事業所

大阪、東京、名古屋、福岡



Stock Information 株式情報 (平成15年3月31日現在)

○株式の状況

会社が発行する株式の総数	11,255,460株
発行済株式の総数	4,474,424株
株主数	984名
証券コード	7608

○大株主

株主名	所有株式数(株)	議決権比率(%)
久保敏志	2,222,691	49.75
ゴールドマンサックスインターナショナル	279,800	6.26
田中美晴	120,000	2.69
八百博徳	55,215	1.24
エスケイジャパン従業員持株会	45,885	1.03
澤田禎夫	45,100	1.01
久保三則	40,000	0.90
モルガンスタンレーアンドカンパニー インターナショナルリミテッド	37,700	0.84
中村英記	33,100	0.74
和泉眞人	33,100	0.74
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	29,400	0.66
野崎伸一	27,200	0.61
筒井雅久	24,900	0.56
久保泰子	21,000	0.47
水浦敏弘	19,450	0.43
久保山浩樹	19,000	0.43
西垣奨司	16,900	0.38
生野好	15,600	0.35
川上優	15,300	0.34
長村泰	15,150	0.34

○株主分布状況

【所有者別株式分布状況】株主数 984名



【所有株式数別株式分布状況】株数 4,474,424株



株主メモ

- 決算期 毎年 3月31日
- 定時株主総会 毎年 6月
- 基準日 毎年 3月31日
その他必要があるときは予め公告をして定めます。
- 配当金受領株主確定日 利益配当金 毎年 3月31日
中間配当金 毎年 9月30日
- 1単元の株式数 100株
- 名義書換代理人 〒100-0006 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部
TEL 06(6229)3011(代表)
- 同取次所 UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
- 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所市場第二部
株式会社大阪証券取引所市場第二部
- 公告掲載新聞 日本経済新聞

なお、日本経済新聞に掲載しておりました決算公告に代えて貸借対照表および損益計算書の開示は、当期より当社ホームページによることとさせていただきます。アドレスは次のとおりです。(http://www.sk-japan.co.jp)

配当金はお早めにお受け取りください。

今回お届けした郵便振替支払通知書による配当金のお受け取り期間は平成15年7月31日(木)までとなっております。郵便振替支払通知書をお持ちになってお近くの郵便局で、お早めにお受け取りください。

お受け取り期間を過ぎたら…

お受け取り期間を過ぎますと、郵便局でのお受け取りができなくなります。郵便振替支払通知書の裏面に、お受け取り方法をご指定のうえ、UFJ信託銀行株式会社大阪支店証券代行部までご郵送ください。

郵便振替支払通知書を紛失された場合は…

UFJ信託銀行株式会社大阪支店証券代行部までご連絡ください。なお、支払の確認と再発行の手続きのため、お支払まで多少日数を必要としますので、あらかじめご了承ください。

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

TEL(通話料無料) 0120(24)4479(本店証券代行部)
0120(68)4479(大阪支店証券代行部)

インターネットホームページ
<http://www.ufjtrustbank.co.jp/>



株式会社 エスケイジャパン

(証券コード：7608)

お問い合わせ先

〒540-0005 大阪府中央区上町一丁目3番10号 エスケイビル
株式会社エスケイジャパン 経営企画室IR担当
TEL：06(6765)1355(直通) FAX：06(6765)0880

ホームページもご覧下さい。

<http://www.sk-japan.co.jp>

IR情報や財務状況、また社員日記など当社の情報を掲載しております。是非当社ホームページにアクセスしてください。